

子育て講演会 演題「未来へ乾杯! ~子どもの幸せを願って~」

令和4年5月19日(木)

講師: 前・佐賀女子短期大学付属高等学校長 吉木 知也 先生

生きるって面白い、人間てすばらしい

これを大人が伝える

☆4つのしかけ

- ・目をかける
 - ・声をかける
 - ・手をかける
 - ・心をはかる
- 親が聞かない子どもは大人になつてどこかでつまづく

☆教育は刷り込み

小さいころから繰り返し教えていく、いい刷り込みをしていくことが大事!!
「かわいゆ、かわいゆ」と育てられれば自分は大事な存在、と思つて育つ。

☆生きるって「おもしろい」、それを感じる子どもを!!

◇夢を持たせる

- ・親が夢を追いかける姿をみせる
- 夢は叶わないほうが多い
- しかし、夢を持った時は「がまんする」ことができる。
- いろんなことをかまんして努力しようとする

身につくものがたくさんある

自分は「活きる」でなければいけないと思っている。夢や目標があれば活き活きとしている。親が持ってくれたらありがたい。どんな時も、親は **子どもの夢を壊さない**

◇根のわかる子ども、根になれる子どもに

花を支える枝、枝を支える幹、幹を支える根。根は見えないんだ。今まで根っこのことを考えなかった。しかし、これを知って根っこのことを考える人になった。⇒人のことを見るようになった。人のすばらしさわかるようになった。

◇感性豊かな子どもに

歌多くの感動(心ふるわせる)体験を。

感性を持たせる基本は **家庭にある**

ことを忘れないこと。家で感動体験は必ずしも心がけるだけでいい。自分が感動したことを話してあげる。「花がきれい」「夕日がきれい」とか子どもと話す。子どもも同じように言うようになる。



子どもが産まれたときは「わあ、よかった。」喜び、感動。⇒成長すると欲が出る。勉強がどうだこうだと言ってしまう。

子どもには可能性がたくさんある。どこかで必ずのびる。⇒才能開花する。どこでどうなるかわからない。それが楽しみ。あわてる必要はない。



今、一番気になる事のは「自分で命を殺める」はどうだろうか?

便利なものができて、子どもたちのコミュニケーションがなくなった。

ゲームにはまる⇒ゲームは1人で遊ぶ。人と関わらないでいい。それが問題!!

スマートホン問題⇒昔は連絡、報告のツール。今はコミュニケーションのツールに。

相手と会いながら、見ながら、相手のことを考えながら接しなければならぬ。スマホはコミュニケーションツールではないことをきちんと伝えたい。与えなければいけない。それができないならば与えるべきではない。

惻隱の情



未来へ

夢はいつも 空高くあるから 届かなくて悔しい。だけど追い続けるの自分の物語(ストーリー)だからこそ諦めたくない!不安になると手を握り一握にぎんだ。その優しさの時にほほえみられた母へ感謝に任せよう



これがあなたの未来道ばら 前を歩いてごらんあれがあなたの未来未来へ向かってゆっくりに歩いて行こう

乾杯

明日の光を 身体にあびてい(運)ぶ。そのま行けばいい。風にあかれても 雨に打たれても 信じた道に 背を向けるな



道の長い道のりを 歩き始めた君に幸せあれ!!子どもたちに幸せあれ!!お母さんに幸せあれ!!お父さんに幸せあれ!!子育て支援センターに幸せあれ!!



講話の中で、未来へと乾杯を熱唱していただき、会場は感動の渦に包まれました。あつという間の1時間、いつまでも余韻が残る充実した1日になりました。

参加者からは「笑いあり、歌ありで楽しい講演でした。生きるすばらしさをこれからの子育てに活かしていきたい。」「わかりやすく、楽しかったです。」「子への関わり方、コミュニケーション、改めて大切だと感じました。」「生きる元気が出てきました。感動したいと思います。」「子育ての話から生きることの素晴らしさを私自身が教えてもらった時間でした。…親の生き方を素敵に感じてもらえる様な日々を送るように頑張らないといけない等と考えさせられました。」など、とても好評でした。